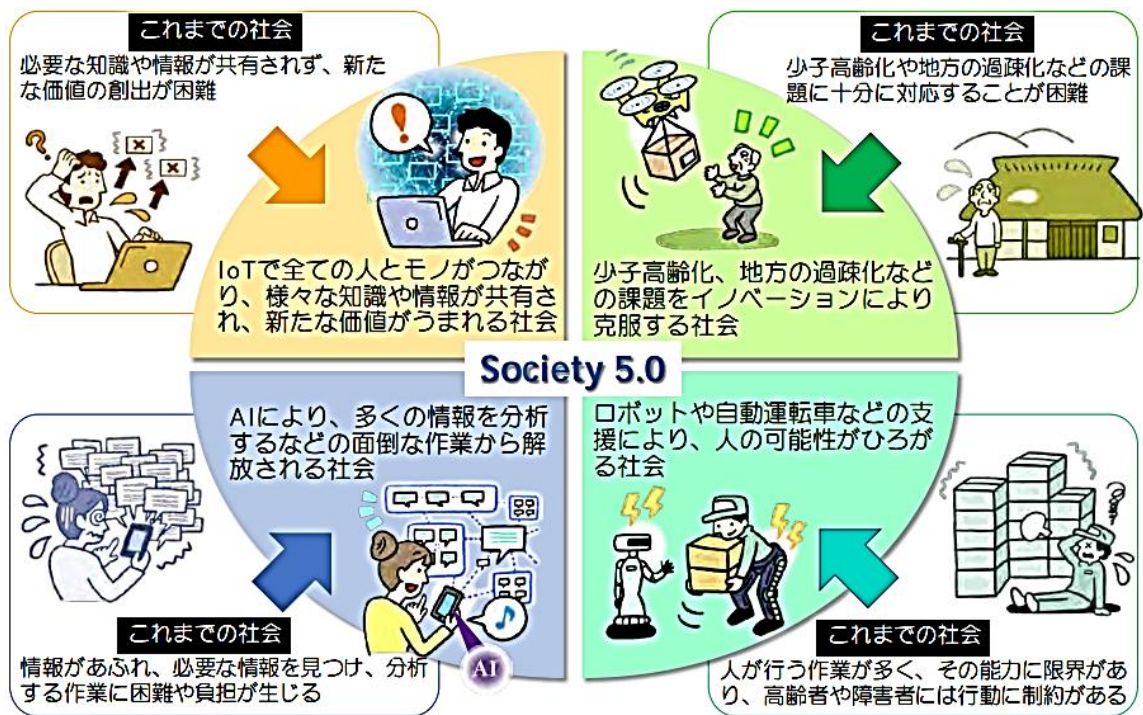




### Society5.0 と新時代を生きる力

学校長 森本 信一

世の中が激しく変わりつつあります。子供たちが生きる近未来の社会として「Society5.0」(超スマート社会)という言葉がひんぱんに言われています。どのような社会なのでしょう。1.0 から順にいえば、狩猟社会, 農耕社会, 工業社会, 情報社会に次ぐ社会が「**Society5.0**」=超スマート社会です。具体的には「インターネットで全ての人とモノがつながり新たな価値が生まれる社会」「イノベーションにより様々なニーズに対応できる社会」「AI (人工知能) により必要な情報が必要な時に提供される社会」「ロボットや自動走行などの技術で人間の可能性が広がる社会」などと表現されています。子供たちが社会に出て活躍する時にはどのような社会になっているのでしょうか。



学校では、近未来の社会で子供たちが生きていくために「**社会に開かれた教育課程**」を編成し、確かな学力、豊かな心、健やかな体のバランスの良い教育を推進しています。その中核となるのが「知識・技能の習得」「思考力・判断力・表現力の育成」「学びに向かう力・人間性等の涵養」の三つの資質・能力です。重要な資質・能力を子ども一人一人に確実に育むため、学校の教育目標に位置づけ教育活動を展開しています。各教科等の指導を相互に関連付けた効果的な指導を重視し全教育活動の充実を目指し取り組んでいます。

令和3年度も、コロナ禍の中、学校における教育活動は様々な制約を受けたり、新たな対応を迫られたりしてきました。その都度、家庭や地域の皆様方にはご理解やご協力をお願いしてきました。

これからの教育は、「社会に開かれた教育課程」とあるように、また、コロナ禍の中においてはこれまで以上に、**学校・家庭・地域がワンチームとして進める**ことが望まれています。子供たちに必要な資質・能力の育成をワンチームとして協力・連携を深めていくことが大切だと考えていますので、引き続き家庭・地域の皆様方のご指導・ご支援をよろしくお願いたします。

